

<b>令和2年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課
<b>施設名称</b>	14	東京都台東区立特別養護老人ホーム千束	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R2.4.1    ~    R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延床面積 6,733.87㎡のうち1,763.54㎡ RC造 地上7階地下2階のうち3、4階 駐車場(共用)、居室、浴室(機械浴、一般浴)、静養室、医務室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄・入浴援助))、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等 [自主事業] なし
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 28名 (内 訳) (施設長(特別養護老人ホーム浅草と兼務)、生活相談員(常勤2)、介護職員(常勤14、非常勤6)、看護職員(常勤3、非常勤1)、機能訓練指導員(非常勤2)) (前年増減) 介護職員(非常勤-1)

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料(指定管理料)	51,367,784	51,367,784	51,764,056	51,764,056
	利用料金収入	127,768,000	133,225,425	133,560,944	130,096,402
	その他収入(他拠点からの繰入他)	7,524,216	30,108,341	20,135,000	25,290,841
	計	186,660,000	214,701,550	205,460,000	207,151,299
支出	人件費	125,311,000	149,765,557	145,928,000	153,551,350
	光熱水費	6,033,000	5,166,351	6,033,000	5,501,789
	維持管理費(委託料・賃借料)	25,958,000	24,290,537	25,415,000	25,115,842
	修繕費	1,500,000	317,184	1,500,000	743,454
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(事務費)	27,858,000	52,360,050	26,584,000	21,806,892
計	186,660,000	231,899,679	205,460,000	206,719,327	
収支			-17,198,129		431,972

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入所定員(ショートステイ)	人	31	31	31	31

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率(特養+ショート)	%	98	97.7	99	95.9
利用者数(特養+ショート)	人	11,200	11,059	11,199	10,885

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
以前より指摘されている人件費の増加は、なおも続いており、それが大きな要因となり収支における損失が拡大し続けている。施設規模の都合上、増収の余地が少ないため、同法人内から資金の繰入れを行う等して対応している。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令の遵守、報告書等の提出等については適切に行われている。新型コロナウイルス感染症対策として、法人においてマニュアルを整備し、施設における面会の制限や入所者・職員の体調管理を徹底し、感染予防に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	利用率は30年度の99.0%より若干減少したが、他の区立特養と比較しても依然として高い水準を維持している。人員配置についても基準以上の配置を行っており、充実したサービスの提供に取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	不具合箇所については発見後速やかに区へ報告の上必要な対応を行っている。また、建物の保守・清掃については複合施設のため一括して委託契約を結び、委託している警備員により入館者の検温を行うなど、感染症拡大防止にも入念に取り組んでいる。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者満足度調査において、回答者の全員が「大変満足」または「満足」と回答しており、他の項目についても多くが満点の回答である。ショート利用者からは継続利用を望む声が多く、提供サービスへの高評価が利用率の高さに繋がっている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	収支はプラスとなっているが、法人内別拠点からの繰入金2,500万円を除くと30年度を上回る赤字となっている。小規模施設ということもあり、大きな収入の増加は見込めないことから、人件費を始めとした支出を抑えることで収支を改善していく必要がある。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
<b>良好</b>  ( 94 / 110点)	<b>【所見】</b> 利用者満足度調査の回答においても利用者・家族から高評価を受けており、サービスの提供については懸念は見当たらない。入所・ショートステイ利用を合わせた利用率についても高水準で推移しており、安定的な運営ができている。
	<b>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</b> 要因として施設管理にかかる業務委託費が収支を圧迫している上、人件費が近年予算額を上回る支出が続いていることが考えられる。支出額を適切に見積もり、人件費の圧縮等に取り組む努力が求められる。